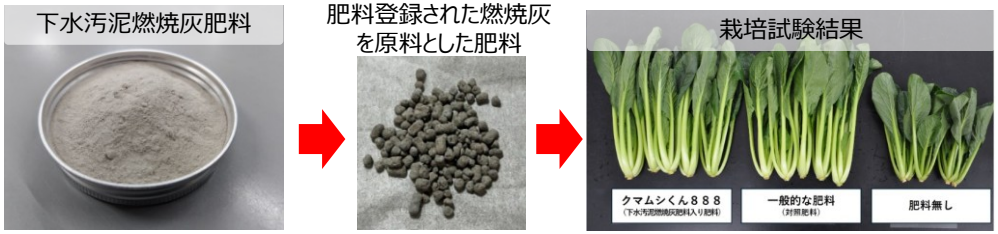
下水汚泥燃焼灰の肥料利用の推進

- 肥料成分の中でも**リン酸が豊富な下水汚泥燃焼灰**については、配合肥料等の原料として利用拡大が期待される。
- 公定規格**「菌体りん酸肥料」**（令和５年10月）に登録することで、他の肥料原料と配合することが可能となり、活用が進んでいる

「菌体りん酸肥料」として肥料登録・販売されている燃焼灰

○ 埼玉県「荒川クマムシくん１号」



埼玉県HPより

○ 埼玉県＆朝日アグリア「クマムシくん888」

下水汚泥燃焼灰を原料とした肥料試作や栽培試験を実施し、肥料効果、土壌・作物中の肥料法有害成分について対照肥料と同程度であることを確認した上で、令和８年度に一般販売が開始。

「菌体りん酸肥料」として肥料登録されている燃焼灰

○ 藤沢市「循環肥料ふじまる」



「循環肥料ふじまる」の実用段階にむけて、日本大学と「植物生育に対する下水汚泥燃焼灰の有効性・可能性の評価」に関する共同研究を開始。

藤沢市HPより

➢ 肥料成分（平均値）

	下水汚泥	燃焼灰
窒素（N）	6.3%	0.05%
りん酸全量（P_2O_5）	4.5%	28%
く溶性りん酸（P_2O_5）	2.9%	12%
カリウム（K_2O）	0.24%	1.6%

※各検体数は、
・下水汚泥について、窒素全量および加里全量が600検体、りん酸全量が599検体、く溶性りん酸が308検体
・燃焼灰について、窒素全量が178検体、りん酸全量と加里全量が194検体、く溶性りん酸が182検体
出典：令和５～7年度成分分析支援事業下水汚泥資源の重金属・肥料成分分析

「汚泥肥料」として肥料登録されている燃焼灰

○ 京都市「みやこのみらいα」

京都府立植物園に試行提供し、肥料成分を含んだ土壌改良材としての効果等について検証中。

肥料メーカーにおける肥料の試作等

○ 藤沢市＆アサギリ

「燃焼灰を用いた試作肥料の研究開発」に関する契約を締結し、新たに共同研究を開始。堆肥をベースにして「循環肥料ふじまる」を肥料原料として混合した、これまでにない新たな肥料の実用化を目指している。

○ 藤沢市＆旭肥料

「燃焼灰を用いたペレット状配合肥料の研究開発」に関する契約を締結し、新たに共同研究を開始。「循環肥料ふじまる」をりん酸原料の一つとして窒素-りん-加里を含む、ペレット状配合肥料の技術開発を行っている。